

ホタル学校だより

「ホタルの幼虫放流式」 約400匹の幼虫を放流



内田市長の挨拶

3月22日(土)鳥川集会所にてホタルの幼虫放流式が行われました。今年は晴天に恵まれ、130人もの方にご参加いただき会場は満席となりました。式典では、内田市長やご来賓の方々からご挨拶をいただきました。

学習発表では豊富小3年生の28人がグループに分かれ、“学校近くの寺前川での環境を守るためにできること”を発表しました。そして次に、町内の小学生4人から自作の〇×形式によるホタルクイズが出題され、ゲンジボタルについて参加者に学んでもらうことができました。

その後いよいよ幼虫を川に放流しました。川沿いの放流場所へ移動し、ホタルの幼虫とエサになるカワニナも一緒に「きれいに光ってね。」など願いを込めて放流しました。

最後に集会所へ戻り、保存会特製の田舎汁のふるまいがありました。舌鼓をうちながら交流を深める姿が見られました。

放流したホタルの幼虫が成虫となり、6月上旬頃には光り始めることでしょう。鳥川のホタルの舞いを今年もどうぞお楽しみに！



放流地点の様子



豊富小学校3年生によるグループ発表



町内小学生の〇×クイズ

幼虫の取り出し

3月21日(金)翌日の幼虫放流に向けて、水槽から幼虫を取り出す作業を行いました。

3世代での一般参加家族とホタル保存会のメンバー17人で、430匹の幼虫を確認することができました。

中にはまだ未熟な幼虫もありましたが、大きく成長した幼虫が無事にホタルの成虫になるようにと願い作業しました。



幼虫を探す様子

上陸装置を作成

4月2日(水)上陸装置を作りました。自然界を再現した水槽に、ホタルの幼虫30匹を移しました。

卵から生まれた幼虫は水の中で過ごしますが、やがて上陸し土の部分でサナギになりますが成虫になるには上陸から40日ほどかかります。

上陸は夜の活動なので見ることは難しいですが、水の中にいる幼虫は水槽で観察できることもありますのでぜひ館内をご覧ください。

Check!

鳥川ホタルまつり開催のお知らせ

鳥川ホタルまつり開催期間 令和7年6月1日(日)～6月25日(水)
鳥川ホタルまつりオープニングイベント 6月7日(土) 午後5時30分～午後7時
※6月1日から25日まで「ホタル学校」は午後9時まで開館します(火曜定休)





タイ政府から23名 鳥川ホタルの里訪問



令和6年12月10日(火)タイ国から環境省主催のタイ政府向けの研修のため23名が「鳥川ホタルの里」を訪れました。

到着時、地元の子どもたちから「鳥川ホタルの里特製ペンダント」を受け取り、和やかな雰囲気でもタル学校の多目的ルームに着席されました。

まずは岡崎市環境部と鳥川ホタル保存会から、ゲンジボタルの保護に向けて取り組んでいる様々な活動や、地域との関わりについて説明しました。その後、登山ルートの入り口周辺や川沿いを視察し、ホタル放流場所の案内をするなど、川や山の様子を実際に見ていただきました。

鳥川ホタルの里は令和5年に「自然共生サイト※」に認定されたことで海外にも“TOKKAWA”の名を広めています。

なお、タイ国政府より記念品が贈呈されました。ホタル学校にてその茶器セットをご覧くださいのでどうぞお立ち寄りください。

※自然共生サイト

民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域



鳥川ホタル保存会についての説明の様子



川の様子を視察



説明を受けるタイ政府の方々



タイ国からの記念品



見学の最後に、地元の子どもたちと共に記念撮影



まっとき隊

鳥川ホタル保存会 登山道整備部会「まっとき隊」をご紹介します。

ボランティアで、登山道の看板整備作業を毎月第2・第4木曜日の2回行っています。手作りの看板作成に加え、ベンチの設置、また登山道や看板の整備を行っています。

安全なトレッキングのためにと、ご尽力いただいています。現在会員は19名で、メンバーを募集中です！

自然素材を使ってオリジナルアートをつくろう！



2月15日(日)オリジナルアート作りに10名が集まりました。間伐材の端切れをふんだんに使い、多目的ルームは木の香りで満たされました。

個性あふれるアート作品が次々と出来上がっていき、誰もが楽しめるプログラムでした。

材料を選ぶ様子と、
集中して作っている様子

